

# 千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 81

事業名	青少年育成団体への活動支援		
担当課・室・班名	生涯学習課社会教育振興室	問合せ先(電話番号)	4072

## 1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり				
基本目標	5 地域社会の連携の強化				
基本方針	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化				
事業内容	補助金の交付 社会教育団体の求めに応じた指導・助言 団体へのヒアリングの実施				
当初予算額(千円)	24年度	981	25年度	883	26年度
決算額(千円)	24年度	981	25年度		26年度
財源内訳	県単(○)	一般財源	県単(○)	一般財源	県単(○)
	○		○		

## 2 事業実績・評価等

### (1) 事業の実施結果

日本ボーイスカウト千葉県連盟、(一社)ガールスカウト千葉県連盟、(一社)千葉県子ども会育成連合会、日本海洋少年団千葉県連盟、千葉県連合婦人会、千葉県PTA連絡協議会、千葉県高等学校PTA連合会、千葉県特別支援学校PTA連絡協議会、千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会、千葉県ユネスコ協会連絡協議会の10団体に対し、補助金を交付した。  
またヒアリングにより、各団体の活動状況や課題の把握に努め、必要に応じ助言した。

### (2) 事業の成果

少子化や、価値観の多様化等により、会員減少に伴う予算減になる団体が多いため、補助金の意義は大きく、各団体の活動事業を維持・発展させることにつながった。学習機会の設定で、会員は教育や人間形成に係る知識を学び、交流の機会を保障したことで、人とのつながりが深まった。  
ヒアリングでは、各団体の課題を把握できた。また、本事業に係る団体の事務処理負担軽減策を提案し、ほとんどの団体は、次年度計画に反映している。

## 3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

各団体の活動のさらなる活性化のため、より団体との連絡を密にし、状況を把握し、助言に努める。  
団体の会員減少は、同時に活動推進役や、すそ野を広げ次代を育てる指導者不足という問題を抱えている。それでも各団体は、限られた予算で、いかに活動を充実させるか腐心し、工夫をしている。県予算縮減は、各団体の活動の後退を招き、より良い地域・社会づくりに結び付かなくなってしまう。補助金交付である本事業は、予算確保が課題である。

## 4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 82

事業名	連携・協働による地域課題解決モデル事業		
担当課・室・班名	県民交流・文化課 協働連携班	問合せ先(電話番号)	4165

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり				
基本目標	5 地域社会の連携の強化				
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化				
事業内容	NPO、市町村、学校、企業、地縁組織などの多様な主体による連携・協働の体制を構築するため、各地域で多様な主体からなる会議体を立ち上げ、連携・協働して地域課題解決の取り組みを進めるモデル事業を実施する。				
当初予算額(千円)	24年度	79,840	25年度		26年度
決算額(千円)	24年度	67,901	25年度		26年度
財源内訳	県単(○)	国 交付金による基 金	県単(○)		県単(○)

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

募集に対し26件の応募があり、審査の結果、17件を採択・実施した。  
採択された事業は平成24年4月から平成25年1月までの期間で事業を実施した。  
4月には「キックオフセミナー」を開催し、9、10月には「中間報告会」を開催した。  
事業終了後の3月には「成果報告会」を開催した。

(2) 事業の成果

本事業をきっかけとして、経済的な担保はないにしても、継続的な会議ないしは関係作りが進み、場づくり、方向性の検討という点で成果を上げることができた。協働の場が増え、活発になることにより、これまで関わりのなかった団体や市民を巻き込み、新たな団体や市民の活動への参加も増えた。NPO法人の設立や新たな組織体への移行や、事業継続のための仕組みづくりが検討されるなど、事業終了後も、地域課題解決やそれらの取組が期待される状況である。  
今回の事業を契機に、関係団体をNPO法人化したものが1件、申請中が1件、申請予定が2件となっている。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

地域課題解決のための地域の様々な主体の基盤整備をうたった事業であったが、2年間で終了してしまったことが悔やまれる。課題解決の場(円卓会議)は、21カ所創られたものの、広い県内からすれば、点在している状況である。協働事業にまだ敷居が高いと感じる団体も多いようなので、参画を促す工夫・仕組みづくりが重要と考える。

4 委員意見

# 千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 83

事業名	学校とNPOとの連携促進事業		
担当課・室・班名	県民交流・文化課 協働連携班	問合せ先(電話番号)	4165

## 1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	県総合教育センター主催の教職員研修においてNPOの基礎や連携事例、地域のNPOの紹介などを行うNPO講座を実施する。 また、NPO向けに授業や授業以外で学校と連携するための企画案の作成に関する講座を開催する。					
当初予算額(千円)	24年度	349	25年度	241	26年度	
決算額(千円)	24年度	217	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

## 2 事業実績・評価等

### (1) 事業の実施結果

NPOやその連携についての理解を深めてもらうため、平成24年9月27日(木)及び28日(金)に千葉県総合教育センターにおける教職員研修のプログラムの一環として、NPO講座を開催した。県立学校等新任教務主任41名、小中学校教務主任等138名が参加した。  
 また、学校との連携を希望するNPOを対象に、10月30日(火)、及び11月6日(木)の2日間にわたり、NPOのための学校連携講座を開催し、延べ55名が参加した。

### (2) 事業の成果

教職員研修におけるNPO講座後のアンケートでは、全体の93.3%がNPOについて理解が深まったと答え、実際に授業や課外活動等でのNPOとの連携については、17.6%が既にしていて、75.1%がしてみたいと答えた。  
 また、「NPOのための学校連携講座」実施後のアンケート結果では、講義・グループワークは、学ぶことが多く、とてもためになったとの意見が多かった。交流会では、いろいろな団体と知り合いになれてよかったという感想が多かった。

## 3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

NPOが指導案を作成しても学校に広報をする機会が少ない等、連携のきっかけづくりが難しい。特に、教職員研修(教務主任等)で、市民活動団体等と連携することによって教育内容の幅が大きく広がることを啓発していく必要がある。

## 4 委員意見

# 千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 84

事業名	千葉県青少年協会助成事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

## 1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	青少年育成県民運動の推進母体である財団法人千葉県青少年協会が、青少年の健全育成を目的として実施する事業に対して補助する。					
当初予算額(千円)	24年度	40,439	25年度	40,329	26年度	
決算額(千円)	24年度	40,439	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

## 2 事業実績・評価等

### (1) 事業の実施結果

財団法人千葉県青少年協会が実施する青少年育成千葉県民会議事業(「私の思い～中学生の主張」、青少年サポーター活動等)に対する支援を行った。

### (2) 事業の成果

- ・「私の思い～中学生の主張」では、千葉県代表が初めて内閣総理大臣賞を受賞するなど、大きな成果を挙げた。
- ・青少年サポーター活動では、高校生・大学生・社会人からなる青少年サポーターを組織し、小学生を対象に環境学習、自然体験を行った。
- ・市町村民会議設置促進では、市町村を訪問し協力と理解を求め、3市が新たに設置した。

## 3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

「青少年サポーター活動の組織化・事業推進」等により青少年育成活動の担い手を支援していくとともに、「私の思い～中学生の主張」等による広報・啓発事業を実施し青少年の参加・参画を促す事業の展開に取り組んでいく。また、青少年育成市町村民会議の全市町村設置に向けて設置促進に取り組んでいく。

## 4 委員意見

# 千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 85

事業名	青少年相談員設置事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

## 1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方針	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	地域の青少年健全育成のリーダー的存在として、青少年健全育成活動、非行防止、安全防止活動等多岐にわたる活動を行っている青少年相談員の活動の充実及び資質や意欲の向上を図る。					
当初予算額(千円)	24年度	25,728	25年度	23,527	26年度	
決算額(千円)	24年度	24,846	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

## 2 事業実績・評価等

### (1) 事業の実施結果

- ・青少年相談員活動費補助を行うとともに、県内11地区で課題研修会を開催(538人参加)
- ・青少年相談員と地域の子どもたちが、スポーツ活動やキャンプ等を行う「つどい大会」(3,417人参加)の活動を支援

### (2) 事業の成果

- ・千葉県青少年相談員連絡協議会を開催することにより、青少年相談員の活動方針の決定や各地区間の情報交換及び連絡調整を図ることができた。
- ・県内11地区において課題研修会・基本研修会を開催することにより、相談員の資質向上が図られるとともに、活動を行う上での課題意識の向上につながった。また、相互の情報交換が進み、市町村連絡協議会において新たな活動を取り入れる契機となった。
- ・県内11地区において「つどい大会」を開催したことにより、子ども達が他の市町村の多くの友だちと交流することができ、他者と関わる能力の向上が見られた。また、活動を通じて、近隣市町村の相談員同士の交流が深まり、互いに助言を受けたり、活動を見直したりするなど相談員活動に対する意欲の向上が見られた。

## 3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・県下の相談員が相談員相互の情報交換が容易になるように、相談員が相互に連携を深められるような場の設定を行ったり、「課題研修会」など相談員の課題意識に即した研修会を開催したりすることで、相談員の活動に対する意欲向上や自覚を促す。

## 4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 86

事業名	青少年補導センター事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方針	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	青少年の非行を未然に防ぐ直接的な役割を担う、各地域の青少年補導センター及び各補導員活動の充実と活性化のための支援を実施する。					
当初予算額(千円)	24年度	4,955	25年度	4,844	26年度	
決算額(千円)	24年度	4,862	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年補導員活動費補助</li> <li>・社会環境整備活動事業補助</li> <li>・青少年補導(委)員大会の開催及び補導(委)員大会における永年従事の補導員の表彰実施</li> <li>・24市町における県下一斉合同パトロール(青少年への声かけ、啓発グッズの配布)の実施</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 事業の成果

<p>・「青少年補導員活動費」及び「青少年補導センター事業費のうち社会環境整備活動事業費」を補助することにより、青少年補導員活動の充実と活性化を促進した。その結果、補導活動を年間で8,020回実施し、延べ7,416名の青少年を補導することができた。</p> <p>・青少年補導(委)員大会の開催により、青少年補導員の資質を向上させるとともに、県内青少年補導員相互の連帯感を高めることができた。また、永年にわたり補導員として活動した者に対し表彰を行う(表彰状授与11名、感謝状授与33名)ことにより、青少年補導員の青少年健全育成及び非行防止活動への意識を高めることができた。</p> <p>・青少年補導センター設置市19市の他、県内の4市町村を合わせた24市町において、特定日(8月1日及び2日)に一斉に青少年非行防止活動を行い、啓発グッズを配布することにより、青少年の非行の早期発見及び補導を推進するとともに、県民に対し青少年補導活動の理解を広めることができた。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

引き続き補助を行い、青少年補導センター及び各補導員活動の充実と活性化を促進する。
------------------------------------------

4 委員意見

--